

教科	国語	科目	国語総合 b	単位数	3	実施クラス	1年	5組
单元名	『伊勢物語』『芥川』							

1. 授業（単元）で扱う目標・内容について

①本授業の目標（能力向上をねらいとする）Step を 、特にねらいとするものを で示しています。

Step	発想	課題・仮説設定	調査・実験計画	データ取得・処理	研究遂行,考察	表現・発表
6	複数の考えを組み合わせながら、自分の発想を再考し、新しい価値を生み出すことができる。	実験・調査結果から新しい課題を見つけ、仮説を設定することができる。	課題や期間に合わせた、適切な実験・調査計画を立案することができる。	与えられたデータを統計的に分析し、分析結果を言語化できる。	必要に応じて外部と協力しながら研究ができる。	グローバルに発信・発表ができる。
5	他者とアイデアを討論し、より良いものにしていくことができる。	仮説が適当なものがあるかを判断することができる。	先行研究を参考に、新たな見解や視点を見いだすことができる。	課題を検証するための、データの取得・分析方法を検討することができる。	課題を解決するために、仮説⇒検証を繰り返すことができる。	論理的に矛盾のない文章が書ける。論文の執筆ができる。
4	知見・知識を統合して、アイデアを見いだすことができる。	疑問に対して仮説を設定することができる。	課題に対する先行研究の調査を行うことができる。	与えられたデータの代表値、分散、相関係数等を調べられる。	得られた結果と仮説が対応するかしないかを正しく判断できる。	スライド・ポスター等を使って発表することができる。
3	身の回りの現象について自分の興味のあることを調べることができる。	調べた結果に、新たな疑問を持つ。	仮説を検証するための手段・機材を検討することができる。	実験・調査を再現できるように研究記録を正確に取ることができる。	実験・調査の条件を再検討し、調整する事ができる。	スライド、ポスター等の発表資料を作成することができる。
2	身の回りの様々な現象を比較して、違いを見つけられることができる。	書籍やインターネットを用いて疑問について調べることができる。	基本的な実験・調査技術を習得している。器具、操作の原理を理解している。	主張したい事柄に応じて適切なグラフを選択できる。	実験・調査の結果から何がわかったのかを理解することができる。	自分の意見や考えを、レポート等にまとめることができる。
1	日常の様々な出来事に興味を持ち、対象をよく観察することができる。	様々な現象に疑問を持つことができる。	実験・調査の手順を理解している。実験の結果を正しく読み取ることができる。	グラフの読み取りができる。数値とグラフの種類が与えられれば、書くことができる。	計画に基づき、手順通りに実験・調査を行うことができる。	自分の意見を持ち、失敗を恐れずに表現できる。

②本授業（単元）で習得すべき内容

- ・習得済みの文法知識を生かして正確な読解をおこない、本文内容を元に登場人物の男、女の心情について考えを深め、男の和歌の丁寧な解釈ができる。和歌と散文の融合による歌物語独自の叙情性について理解する。
- ・古典世界に興味を持ち、積極的に考えを深めた内容について周囲に発表できる。

2. 1の目標・内容を達成できたかを判断する「規準」と「方法」

- 規準：・正確な口語訳に基づいた解釈であるか。
- ・どのような情報があれば読解がより深まるかアイデアを出し合い、背景や習俗について調べた内容を元に考えを深められているか。
 - ・作成したスライドは聞き手に伝わりやすい内容となるよう工夫されているか。
- 方法：・スライドの発表を評価する。また評価シートを用いた生徒同士の相互評価をおこなう。

3. 具体的な授業におけるチャレンジ（教材・発問・学習活動・めあて・ふりかえりなど）

- ・登場人物の心情について本文内容を深く検討するとともに、背景などの調べ学習やグループで協働して考えることを通して、『伊勢物語』『芥川』をより深く読解する。
- ・他グループの発表を評価し、自分たちの班の調べた内容と比較して振り返る。

4. 授業の展開

時間	学習内容と活動		指導上の留意点・評価
5分	前時の振り返り 本時の流れの説明	発表の順番・やり方などを確認する。 評価内容を確認する。	発表の手順・注意点を確認し、発表者、聞き手ともに見通しを持たせる。
40分	グループ発表 (一班6分以内、 計5班)	男、女それぞれの心情や、背景などの調べた内容について、ロイロノートを用いて作成した資料を、電子黒板に投影して発表をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに進行できるよう適宜指示をする。 ・発表態度について評価をおこなう。スライド内容については事前に提出をさせておいたものを評価し、当日の発表時の説明でどのような工夫がされているかを見て評価する。 <p>(グループでの協働については、当時の発表態度とともに発表準備の話し合い時にシンキングツールを作成・提出させておき、評価に使用する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の交代時に工夫されていた点について端的な講評を添える。
5分	発表の全体講評 評価票をまとめる	各グループの評価をまとめさせ、発表を聞いて気づいたこと、納得したことなどを振り返り記入する。	発表の評価、発表を聞いての振り返りをロイロノートで提出させる。 次回の授業で評価のまとめを全体で共有することを伝える。

5. 授業プリント等

- ・評価シート

提出は、¥¥landisk-eea76a¥A00_全校共有¥10 総務企画部¥◆◆R03 マトリクス校外向け公開授業◆◆
¥「授業案提出箱」へ 10月14日(水)までをお願いします。